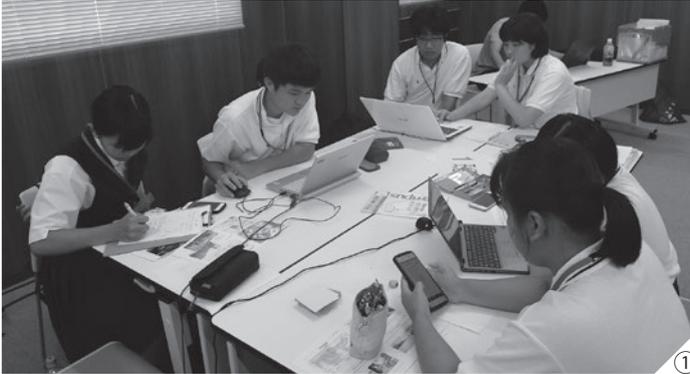




## ワカモノ目線でまちづくり提案 つくば秀英高と筑波大、当市が連携



①提案の内容を考える生徒たち／②最終日には、市長をはじめとした市職員の前でそれぞれの班がプレゼンテーションを行った／③自身のキャリアを振り返りながら講演を行う中田浩二さん

つくば秀英高等学校と筑波大学が連携し、まちづくりについて提案する「高大連携」事業が8月1日から3日まで行われました。参加した同高の生徒たちは、筑波大生の指導のもと、市内を見学したり、各種統計データなどを駆使し、高校生ならではの目線から本市のPR方法などを提案。2年生の會澤陽花さんは、本市の現状をふまえ「人口の増加はずっとは続かない」と分析。會澤さんの班は「定住促進や市外の人をターゲットにした事業を」と、間宮林蔵をアニメキャラ化し、ゲームアプリなどで若者に向けPRするアイデアを提案しました。小田川市長は「若い皆さんのアイデアはどれも素晴らしかった。実現できるかどうか検討していきたい」と感想を述べました。またこの日は、元サッカー日本代表の中田浩二さんの講演がありました。中田さんは現在、鹿島アントラーズのクラブ運営に携わりながら、筑波大学大学院で社会工学を学んでおり、今回の高大連携事業にも高校生を補佐する役で参加していました。講演の中で中田さんは、海外でのプレーに挑戦した自身の経験を語り「失敗を恐れずにどんどんチャレンジして行ってほしい。もし失敗しても、それは次のチャレンジのための糧になる」と高校生に温かいエールを送りました。

## 関東サッカーリーグでの飛躍誓う アイデンティみらいが市長表敬

小張に本拠地を置くサッカークラブ「アイデンティみらい」が7月17日、小田川市長を表敬訪問しました。アイデンティみらいは今シーズンから関東サッカーリーグ2部に参戦し、後期第5節終了時点で4位につける健闘を見せています。キャプテンの喜多佑真選手は「全員で雰囲気良く頑張っていきたい」とリーグ戦終盤に向けた意気込みを語ってくれました。今シーズンのホーム最終戦は9月16日(日)、みらい平グラウンドで開催されます。



## つくばみらい市音頭を体験 7月の伊奈公民館よつわ大学学習活動

高齢者の皆さんがさまざまな学びの活動を行う「よつわ大学」で7月18日、「つくばみらい市音頭」の体験会が開催されました。この日は伊奈公民館に約60人の参加者が集まり、雅流賀博会の皆さん指導のもと「音頭」の振り付けを練習しました。参加者の山口利子さん、古賀笑子さん、萩野目美枝子さんは「音楽に合わせて踊ることは身体にも頭にも良いですね」と笑顔。指導にあたった賀博会 雅博馬さんは「振り付けには一つひとつ意味があるので、それを理解すると覚えやすいです」とコツを話してくれました。